



5月の広～い青空と、だんご山のウグイスと、草や葉っぱが青々と、湿気を含んだ土の匂い。子どもたちにとっての日常は大人にとって大切な感覚を取り戻す貴重な時間のよう。朝すれ違う子どもたちに発するあいさつが清々しさを増してくれる。「おはよう」、そして「いってらっしゃい！」

まきばの学校



「大昔、人が初めて大地に立ったとき、周りには何が見えたでしょう」という問いかけに、子どもたちは「空があった」「地面があった」「太陽」「星」「月」「山や川」「木」「動物」・

・・・と次々に思いつくかべ発言しました。

3年生で始まった学び「くらしと仕事」の導入の会話です。

大昔から人は自然の恵みをいただいて暮らしてきたこと、食べ物、住まい、着るもの、道具を作る材料、すべてが自然からいただいたものであったことを、子どもたちと話し思いつくかべました。そのなかでも特に動物との関わりについてどんなふうだったか、そして、今でも動物たちにはお世話になっていることを話しました。

手仕事の授業で使っている毛糸はまさに羊からいただいたものです。それに、牛乳から、多くの人が食品としていただいているものが作られます。また、牛ふんから作られる堆肥は畑の土づくりにも使われます。

そこで、実際に牧場へ行き動物たちにあおう、動物たちと共に生活している方に話を聴かせてもらおうということで、「こどもの国 まきばの学校」へ出かけました。

よく晴れた4月22日、牧場に着くと、草や動物のにおいがしてきました。子どもたちは、早く動物たちの所に行きたいとわくわくしているようでした。

まずは、まきばの学校の高橋さんから牛のことについてお話を聴きました。ホルスタイン種、ジャージー種がいること、1日にどれくらい食べてどれくらいふんをす

るかなどを、お話しくささいました。子どもたちは、そのお話を聴いて、食べる量やふんの量の多さに驚きの声をあげました。それから、高橋さんが堆肥を作っている場所へ案内してくださり、フレッシュなやわらかい牛ふんが堆肥に変わっていく過程を説明しながら見せてくださいました。できあがった堆肥を高橋さんが両手ですくって持って来てくださると、子どもたちは堆肥に鼻を近づけそのにおいをかぎました。そして、牛ふんのにおいがすっかりなくなっていることが分ると、感心した様子でうなづいていました。私たち3年生は、その牛ふん堆肥をいただいて、後に校庭の畑の土づくりに使いました。

さて、堆肥見学の後は、牛の搾乳体験をしました。子どもたちは手をよく洗うと、搾乳のために連れて来られた牛が驚いたり怖がったりしないように静かに1列に並び、牧場の方のお話を聴いて順に搾乳をしました。

搾乳を終えた子どもたちは、新しい体験をして心が満たされたような表情で手を洗い、余韻を楽しむように友だちが搾乳する様子を観ていました。「楽しかった」「またやりたい」、そんなつぶやきも聴こえてきました。



(次ページへとつづく)

搾乳の後は、牛と羊へのえさやりを体験しました。2つに割られた竹の先にえさをのせて、それを牛の口元に近づけてあげると牛は器用に舌を使って食べました。羊のためには斜めの坂の上にえさをのせてあげると、えさが転がって羊にとどくのでした。

子どもたちは、このえさやりをゆっくり時間をかけて行いました。「全部の牛と羊にえさをあげたい」と言いながらえさやりをする子、看板に書かれた牛の名前を確認して名前を呼びかけながらえさやりをする子・・・えさがなくなっても子どもたちは牛や羊からなかなか離れがたいようでした。

ようやくえさやりを終えると、草原へ行きお弁当をいただきました。暑くなりましたが、皆で草の上に座りお弁当を食べるのはとても楽しいことでした。

「ごちそうさま」の後は昼休みとしましたが、子どもたちは丘の斜面を登ったり駆け下りたり鬼ごっこで走り回ったり元気に遊びました。皆、いい笑顔でいかにも楽しそうでした。

まきばの学校、最後の活動は羊の毛刈り見学でした。

手仕事で羊毛や毛糸を使っている子どもたちは、関心をもって毛刈りの様子を観ていました。毛刈りを行う牧場の方と羊の一生懸命な姿を見て、羊毛や毛糸がどんなに大切なものか、そして、それをいただけることに感謝する気持ちが子どもたちの心の中の深い所に生まれたのではないかなと思います。

このように、よく話を聴き体験し、子どもたちにとってまると楽しいまきばの学校となりました。今でも印象に残っているのは、子どもたち1人ひとりの顔が満足そうに輝いていたことです。

(3年生担任 神田ひとみ)



羊毛の仕事

こどもの国に出かけた翌日、いただいたちようしゅうちゃん(羊)の毛を、早速子どもたちと洗うことにしました。朝のうちに、1時間ほど熱いお湯につけておくと、お湯は茶色くどろっと濁っていました。そこから引き上げて絞ると、随分白くなった羊毛が現れました。それをシートの上に広げて、草やふんなど残っているごみを取りながら「ここは羊さんのどの辺の毛だろう。」「なかの方は汚れていないね。」「ふわふわだよ!」「ここはまだべとべとだ。」などと色々な声が聞こえてきました。「このあぶらは上等で、お肌すべすべになるんだよ。」

それからひとつかみずつ、たらいに石鹼を溶かしたお湯の中でやさしくふり洗い、ぎゅっと絞っていきました。

「こんなに真っ白になった!」と子どもたちは興奮気味に見せにきてくれます。

1年生の手仕事の最初の授業で、原毛に触れるという体験をしていますが、実際に自分の手からえさをあげた愛らしい羊さんが毛を刈られる姿を見て、その毛をいただいて帰り、丸ごとの毛を触って1つかみずつ洗う、という作業は、子どもたちにとっては改めて新鮮でインパクトのある体験なのだと感じられました。

「本当だ、きれいになったねえ。さあ、次のをお願い。」

こんなにたくさん、洗い終わるかしら、と内心ドキドキでしたが、ひとみ先生のサポートのもと、全員が丁寧に、でもてきぱきと作業してくれたおかげで、エポックの時間内に教室まで運び、広げて乾かすところまでやり終えることができました。

その後3回の手仕事の時間の中で、その羊毛をカーダでふわふわにほぐしていきました。これもなかなか大変な作業。でも、せっかくだいだいた羊毛を使わせていただくのですから、と根気よくがんばりました。大きな袋いっぱい、ふわっふわの羊毛を見た子どもたちの満足げな顔が印象的でした。

これからこの羊毛を、どんなふう役に立っていかうか、とワクワクしているところです。

(手仕事専科教員 野村直代)

昨年度は開催が叶わなかった「全校ピクニック」。今年度は、無事に初夏のように恵まれた日差しの下、1年生から9年生までの全校児童・生徒が顔を合わせ、新緑の緑あふれる新治市民の森を抜け、三保念珠坂公園まで歩き、思いきり体を動かす楽しいひとときを過ごすことができました。例年保護者は同時間帯に校内研修を行ないますが、今年は保護者も他学年との交流を深めながらのピクニックとなりました。参加した保護者からの報告です。

全校ピクニック



5月9日（土）五月 晴れの中、全校ピクニックが開催されました。

集合場所の十日市場校舎の裏手にあるだんご山公園に集合し、近隣の里山である、新治の森の入り口を経由して、三保念珠坂公園まで歩く約2時間のイベントの始まりです。

9時、だんご山公園には、三々五々に、親子そろって登校する子どもたちは、皆楽しそうに集まって来ました。子どもたち、お父さんお母さんたちも何となく大きな輪になって、それぞれ久しぶりの再会を楽しんでいるようでした。

最初のプログラムは、保護者たちの一風変わった自己紹介です。先生の合図で大きな輪の中央にあるいくつかの目印の周りを蝶や蜂のようにゆっくり飛び回り、ストップの合図と共に（花に見立てた？）指定された色の目印にとまります。各学年、順不同で呼ばれ、子どもの名前、本人の名前等を手短かに紹介していきます。日頃、9学年の保護者が一堂に会する機会の少ない中、他学年の保護者の声を聞き、顔合わせをする貴重な機会となりました。

その後、保護者は3～4グループに分かれ、だんご山公園から新治市民の森の水田の脇を森の中に入っていきます。やや汗ばむ陽気の中、お喋りに花を咲かせる人、森の深い緑や新緑の景色を楽しみながら歩く人等、ほどよいアップダウンのあるコースを歩いていきます。前日の雨も心地よい湿気になっていたようです。

その後、池ぶち広場でしばし休憩をした後、森の周辺にある水田や竹林にそって、三保念珠坂公園に向かいます。途中、この竹林の木を使って子どもたちが家を作るとか、ここが何年生の水田になる場所です、など、子どもたちにまつわるエピソードをお母さん方からガイドいただき、森と学校の関わりを知らないお父さんたちも自然と学園の繋がりに思いを馳せることができた方もいたようでした。

1時間近く歩いた頃でしょうか、三保念珠坂公園の麓に着きました。保護者は、芝生の滑り台のような坂道をあがると、そこには先に着いた子どもたちが待っていました。

そこでは、何かの遊びをしているようです。子どもたちはタオルを腰の辺りにつけ、下の学年がそれを取りに行く鬼ごっこ（「しっぽ取り鬼ごっこ」というそうです）をしていました。

各学年で順に鬼ごっこが始まると、器用に逃げ回る子、何度も追っかけ回す子、それぞれ無邪気に、本気で追いかけてっこをしています。子どもたちを優しく見守る先生方や保護者の様子が印象的でした。

最後に1年生の順番となり、タオルを取る鬼役は9年生です。担当の先生の「皆さん空気を読んで仕事をしてくださいね～」とのかけ声の後、スタートの号令で開始しました。

どうなるのか？と想着いたら、まさか？案の定？9年生は全てのタオルをあっという間にとってしまいました。先生方や保護者たちは微笑で見守ります。さらにもう1回仕切り直しです。今度は、逆に9年生は何とも、紳士的な鬼となりました。私は、この様子を見て、普段、空気を読まず、伸び伸びと生活をさせてもらっている、子どもの素直さが少しうらやましくなりました。

そうこうするうちに、解散の時間が近づいてきました。各方面の帰り道のグループに集まって、お互いの顔合わせです。様々な学年の子どもたちが順に自己紹介して、先生方のお話しの後、それぞれ、保護者と帰宅の途につきました。

私は、初参加だったピクニックでしたが、時間を忘れて歩き、5月の陽気を満喫し、久しぶりの交流を深めることができました。今回のピクニックで、顔を合わせ、声を聞き、一緒に同じ場所で過ごすという、当たり前にあるはずの時間の大切さを分かち合えたような気持ちで、とても印象深い1日になりました。社会の混沌さが増す中、イベントを準備された先生方、関係者の皆様には検討、実施の中で様々なご苦勞をされたのではないかと思います。末筆ながら感謝申し上げたいと思います。

（3年生保護者 佐藤真之）

6年生は毎年秋に日本史の学びの一環として、奈良へ2泊3日の修学旅行に行きます。昨年度は、コロナ禍の影響もあり、秋の開催は延期となっていました。年が明けた3月末、いざ実施の運びとなりました。そのときの様子を、担任の神田昌実先生が報告してくれました。

6年生の奈良旅行



最初の予定では2020年10月末だった6年生の奈良旅行ですが、コロナ禍の中で一旦延期され、5ヶ月後の3月末に、子どもも大人も体調管理を何週間か前から十分に行うという基本条件のもと、6年生20人と付き添い教員3人は無事2泊3日の旅行に行っていました。

奈良旅行は日本史の学びの一環で行われます。古代から縄文、弥生、飛鳥、奈良という時代の流れの中で、特に飛鳥時代と奈良時代の出来事に焦点を当て、実際にその出来事が起こった場所を訪ねて学びを深めることが目的です。各自が興味のあることを調べ事前に発表もしているので、行く先々で観たり聞いたりすることにも、より親近感を持てるようになります。本当の意味での修学旅行です。もちろん子どもたちにとっては興奮するクラス旅行でもあります。

1日目の飛鳥はたくさん歩く予定でしたが、あいにくの雨。しかし雨天決行と伝えてあったので、皆は合羽を着て傘をさし、雨の飛鳥をよく歩きました。幸い風がなく降ったりやんだりする小雨の一日でした。

夕方に奈良市内の宿舎、大仏館に到着すると、久しぶりに子どもたちを迎えたことを従業員の方たちも喜んでくださっていることが感じられる、とても親切で温かいおもてなしを受けました。感染予防対策もしっかり取っており、ふすまを外して大部屋を3つつなげた大広間で全員が同じ方向を向いて食事をしました。

その日の夕べの会では、皆一様に「とにかく疲れた」と感想を述べていました。疲れすぎたせいか就寝時刻になると誰もがあっという間に寝てしまったようです。

2日目の法隆寺は聖徳太子が建立した美しい伽藍を持つお寺です。この日は京田辺シュタイナー学校で高等部に社会科を教えている山岸寿子先生がガイドを引

き受けてくださいました。何度行っても法隆寺は美しいと私は思います。しかし古い木肌の建物が1400年前の創建当時は木部が真っ赤に塗られていた派手なものだったらしいと聞き、「今の方がいい!」と思いました。

この日の昼食は奈良名物の茶粥と柿うどんの定食を食堂に注文していました。しかし、子どもたちの反応は私の期待とは裏腹に、大ブーイング!しかも大きな丼になみなみ入れられたほうじ茶で炊いたお粥は食べても食べても減らず、奈良のマイナスイメージを子どもたちに植え付けてしまったようです。本当に奈良の方に申し訳ない気持ちでいっぱいです。茶粥は大人の味でした。いつか大人になったらまた食べてほしいです。

2日目の夕食は翌日に東大寺を案内して下さる飯田むつみさんと一緒に頂き、食事の後は飯田さんのフランスシターの演奏を聴きました。飯田さんには藤野と横浜の生徒は毎年、東大寺の案内をしていただいています。珍しい楽器についての質問も後で答えていただきました。

あっという間の3日間の最終日、朝の散歩は前日同様春日大社の鳥居をくぐり、鹿の朝食風景を見ながら参道をさらに進み、春日大社の本殿まで行ってお参りをしました。清々しい空気を吸いながらのこの朝の散歩が最高なのです!

朝食後は宿の方々に見送られながらお礼を言って出発し、飯田さんの案内で山岸先生も一緒に東大寺を拝観しました。大仏さまも素晴らしいのですが、二月堂の舞台から見る奈良市の全貌が美しかったです。

午後は平城宮跡の公園に行き、遣唐使船の前でお弁当を食べました。これも奈良名物柿の葉寿司を選んだのですが、これは当たり!子どもたちは喜んで食べていました。良かったです。



往復の新幹線の座席は一方向を向けたままでしたが、みんな上手に楽しそうに過ごしていました。新横浜に着きお迎えの方々に改札の中から手を振ると、大きな拍手で迎えられ、まるで凱旋帰還のようでした。きっとご心配もあったことでしょう。保護者の皆さまのご理解とご協力に心から感謝しています。

実は旅館では各部屋にテレビがあり、「見ないでね。」と言っただけで、あとはみんなを信じるしかないと感じていました。しかし、子どもたちの部屋を覗くと集まって談笑していたり、にらめっこのようなゲームをしていたりで、テレビには見向きもしていません

んでした。つまり人と人とが楽しく交流して過ごせていれば、機械は必要ないのです。それを実際に見たことは大きな収穫でした。

旅行中いつも最後尾を守ってくれた横山先生、カメラマンになって奔走してくれた伊藤先生、ありがとうございました。お陰ですごく良い旅行ができました。

(7年生担任 神田昌実)

インフォメーション

～詳細やお申込方法については学園サイトをご覧ください～

学校づくりをご支援ください

皆様からの贈りもので次世代を担う子どもたちがよりよい環境で学んでいくことができるようになります。温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

支援のかたちの詳しくは、
こちら学園サイトをどうぞご覧ください。



https://yokohama-steiner.jp/unei/gakko_dukuri/

クレジットカードでのお手続きは
こちらから行なっていただけます。



https://yokohama-steiner.jp/unei/gakko_dukuri/credit/

横浜シュタイナー学園にお気持ちをお寄せくださいますこと、心より感謝申し上げます。

SNSはじめました！

横浜シュタイナー学園

Facebook 公式ページと

Instagram 公式アカウントを開設しました。

Facebook

<https://www.facebook.com/steineryokohama>



Instagram

yokohamasteiner



ぜひ、フォロー、お友だちへのご紹介をお願い致します。

YSG メールマガジン配信中

公開講座やイベント開催など、学園のさまざまなトピックをメールでお知らせします。

ご希望の方は学園 WEB サイトよりご登録ください。

<https://yokohama-steiner.sakura.ne.jp/mm.html>



がくえんにっし

ニューズレターではお伝えしきれない教室の様子（季節のテーブル）や放課後の様子、保護者の活動など日々様子を、学園 WEB サイト内「がくえんにっし」ページで発信しています。こちらどうぞ覗いてみてください！

2022 年度入学・転入説明会

【A】「シュタイナー教育とは」「教育内容について」

【B】「保護者の学園への関わりについて」

* A→B の順で両方の回に必ずご出席ください。

6/19(土) 入学説明会 A

6/26(土) 入学説明会 B

8/28(土) 入学説明会 A

9/5(日) 入学説明会 B

9/11(土) 入学説明会 A

9/26(日) 入学説明会 B

オンラインによる同時配信も予定しております。

詳細は学園サイトにてお知らせします。

シリーズ建築講座

「宗教建築と人間について」

日にち: 第1回 7月6日(火)

第2回 10月19日(火)

第3回 1月18日(火)

時間: 10:00 ~ 12:00

会場: 霧が丘校舎 (おひさまの部屋)

参加費: 2000円(一般)・1500円(NPO会員)

お申し込みは事務局までお願いいたします。

～事務局より～

ご支援ありがとうございます。

(順不同・敬称略)

金田治子、教員会(100周年経費の残額)、

教員養成講座、おひさまカフェ、星の金貨

学園にお気持ちを寄せてくださり、心より感謝申し上げます。

☆星の金貨より☆

綿や麻素材の布マスクとマスクケースが好評です。

涼風書林やイザラ書房の書籍、ヴェレダ、アトリエルピナスの
ポストカードもお取り扱いがございます。

どうぞお立ち寄りください。

メールアドレスが変わりました。

kinka.hoshino7@gmail.com



連続講座 シュタイナー学校を知りたい! ②

大人のための体験授業 I / 低学年編「かず」「音楽」

日時: 7月4日(日) 10:00~12:10

会場: 霧が丘校舎

連続講座 シュタイナー学校を知りたい! ③

大人のための体験授業 II / 高学年編「幾何学」「粘土」

日時: 7月4日(日) 13:45~15:55

会場: 十日市場校舎

定員: 各回 10名

参加費: 各回 3000円(一般)・2800円(NPO会員)

* ②、③ 通しでのご参加の場合

参加費: 1日 5000円(一般)・4800円(NPO会員)

* ②のみ保育のご用意があります。

お子さま一人につき、1000円。開催日の1週間前までに事務局までお申込みください。

* 連続講座の詳細につきましては、学園サイトをご確認ください。

多面的シュタイナー考察 ⑩

宗教 V

～アントロポソフィーからみた宗教的なもの～

日時: 7月3日(土)

10:00~12:00

会場: 十日市場校舎 & オンライン

参加費: 会場参加 2500円・オンライン 2000円

NPO会員の方はパスポートが適用されます。

お申込みの詳細は、学園WEBサイトをご覧ください。

～音といっしょに体を動かす～

「大人のオイリュトミー」

日にち: 1学期 6月7日・7月5日

2学期 9月13日・10月11日・11月8日

3学期 1月17日・2月7日

時間: 9:15 ~ 10:45

会場: 霧が丘校舎

参加費: 1回 1500円(学期まとめてのお支払いは割引があります)

NPO会員の方はパスポートのご利用をおすすめします。

お申込みは、開催日4日前までに、事務局までお願いいたします。

横浜シュタイナー学園

～Newsletter 第140号～

2021年5月27日発行

編集: 広報の会

発行: NPO法人 横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※ 掲載内容の無断転載をお断りします

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替: 00260-0-130702

加入者名: 特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行: 店番029 支店名029店(せーけい店) 当座0130702